



日本史 B 問題

はじめに、これを読むこと。

(注意事項)

1. これは日本史Bの問題である。解答用紙が出願時に選択した科目であるかどうか確認のうえ、解答すること。
2. この問題用紙は19ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
3. 解答用紙の所定の欄に、必ず氏名を記入すること。
4. 解答用紙には受験番号が印刷されているので、受験番号が正しいかどうか受験票と照合し確認すること。
5. 解答は、すべて「解答用紙」の解答欄に記入またはマークすること。解答欄以外のところには何も記入しないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆又はシャープペンシル(いずれもHB・黒)で記入すること。
7. 訂正は消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 文字は一点一画まで正確に書くこと。
10. 解答用紙は持ちかえらないこと。
11. この問題用紙は必ず持ちかえること。
12. 試験時間は60分である。
13. マークの記入例

良い例	悪い例
	  

[I] 次の史料(一部抜粋)を読み、以下の設問に答えなさい。なお旧漢字は、適宜、新漢字に改めてある。

一、吾等合衆国大統領、中華民国政府主席及「グレート・ブリテン」国総理大臣ハ
吾等ノ数億ノ国民ヲ代表シ協議ノ上日本国ニ対シ今次ノ戦争ヲ終結スルノ機会
ヲ与フルコトニ意見一致セリ

六、吾等ハ無責任ナル軍国主義カ世界ヨリ駆逐セラルルニ至ル迄ハ平和、安全及正義ノ新秩序カ生シ得サルコトヲ主張スルモノナルヲ以テ日本国民ヲ欺瞞シ之ヲシテ世界征服ノ挙ニ出ツルノ過誤ヲ犯サシメタル者ノ権力及勢力ハ永久ニ除去セラレサルヘカラス

七、右ノ如キ新秩序カ建設セラレ且日本国ノ戦争遂行能力カ破砕セラレタルコトノ確証アルニ至ルマテハ聯合國ノ指定スヘキ日本国領域内ノ諸地点ハ吾等ノ茲ニ指示スル基本的目的ノ達成ヲ確保スルタメ占領セラルヘシ

八、「」宣言ノ条項ハ履行セラルヘク又日本国ノハ本州、北海道、九州及四国並ニ吾等ノ決定スル諸小島ニ局限セラルヘシ

九、ハ完全ニ武装ヲ解除セラレタル後各自ノ家庭ニ復帰シ平和的且生産的ノ生活ヲ営ムノ機会ヲ得シメラルヘシ

十、吾等ハ日本人ヲ民族トシテ奴隷化セントシ又ハ国民トシテ滅亡セシメントスルノ意図ヲ有スルモノニ非サルモ吾等ノ俘虜ヲ虐待セル者ヲ含ム一切ノ戦争犯罪人ニ対シテハ嚴重ナル処罰ヲ加ヘラルヘシ^(イ)日本国政府ハ日本国民ノ間ニ於ケル民主主義的傾向ノ復活強化ニ対スル一切ノ障礙ヲ除去スヘシ言論、宗教及思想ノ自由並ニ基本的人権ノ尊重ハ確立セラルヘシ

十一、日本国ハ其ノ経済ヲ支持シ且公正ナル実物賠償ノ取立ヲ可能ナラシムルカ

如キ産業ヲ維持スルコトヲ許サルヘシ但シ日本国ヲシテ戦争ノ為再軍備ヲ為スコトヲ得シムルカ如キ産業ハ此ノ限ニ在ラス右目的ノ為原料ノ入手(其ノ支配トハ之ヲ区別ス)ヲ許可サルヘシ日本国ハ将来世界貿易関係ヘノ参加ヲ許サルヘシ^(ウ)

十二、前記諸目的カ達成セラレ且日本国国民ノ自由ニ表明セル意思ニ従ヒ平和的傾向ヲ有シ且責任アル政府カ樹立セラルルニ於テハ联合国ノ占領軍ハ直ニ日本国ヨリ撤収セラルヘシ^(エ)

十三、吾等ハ日本国政府カ直ニ全 ノ無条件降伏ヲ宣言シ且右行動ニ於ケル同政府ノ誠意ニ付適当且充分ナル保障ヲ提供センコトヲ同政府ニ対シ要求ス右以外ノ日本国ノ選択ハ迅速且完全ナル壊滅アルノミトス

(出典：外務省編『日本外交年表並主要文書』下巻)

問 1 空欄 に入る適切な語句を解答欄に書きなさい。

問 2 空欄 に入る適切な語句を解答欄に書きなさい。

問 3 空欄 に入る適切な語句を解答欄に漢字 5 文字で書きなさい。

問 4 下線部(ア)に関する以下の説明文の空欄 ～ に入る適切な人名を解答欄に書きなさい。

この史料は、ある会議において作成されたものである。史料には 3 者が協議し意見が一致したとあるが、その会議に実際に集ったのは、アメリカ合衆国大統領 と、ソビエト連邦首相の 、及びイギリス首相のチャーチル(後にアトリー)であった。文中にある中華民国主席の は電報で内容を確認したとされている。

- 問 5 下線部(イ)に関し、A級戦犯容疑者を対象とした裁判は何と呼ばれるか。その正式名称を解答欄に漢字8文字で書きなさい。
- 問 6 下線部(ウ)に関し、日本は1952年、アメリカの支持のもとに二つの国際機関に加盟した。そのうち、自由貿易体制を維持することを主要な目的とした機関は何か。その名称を解答欄に書きなさい。
- 問 7 下線部(エ)に関し、連合軍の日本からの撤収を促す大きな要因となった1950年に起きたできごととは何か。解答欄に漢字で書きなさい。
- 問 8 下線部(エ)に関し、占領軍が撤収したものの、代わってアメリカ軍が駐留することとなった。その理由と経過を解答欄に60字以内で書きなさい。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

10世紀以降、武芸すなわち弓射騎馬を専業とする武士が、社会的身分として無視できない意味をもちはじめた。やがて彼らは同族的関係を中核とする武士団^(ア)を各地で形成する。そして11世紀には、その競合と統合が繰り返される中から、武士団を束ねた清和源氏、桓武平氏といった武家が登場してくるのである。

桓武平氏のうちでも伊勢方面に進出した平氏は伊勢平氏とよばれた。11世紀末にその一族の平正盛が所領の寄進により白河上皇に接近し中央政界への足がかりを築くと、子忠盛は鳥羽上皇に重用され平氏の地位を確固たるものにしてゆく。その子清盛は、保元および平治の乱における活躍で武家の棟梁としての名声を高めた。^(イ)後白河上皇の信任も厚く、ついに1167年には [1] にまでのぼりつめた。清盛は一族に高位高官を与えて平氏は栄華を極めた。^(ウ)

当然これら官職から追放された人びとは清盛を快くは思わず、1177年には鹿ヶ谷の陰謀として知られる平氏打倒未遂事件が発生する。清盛はこの事件を受けて1179年に、後白河法皇を鳥羽殿に幽閉するという強圧手段をとり院政を停止した。^(エ)

しかし、後に『平家物語』に「おごれる人も久しからず」と記されたように、清盛の勢威は長くは続かなかつた。平氏の専横的な武断政策に不満を抱く各地の武士団は、後白河法皇の皇子である以仁王が発した平氏討伐の令旨に大きな刺激を受け蜂起し、全国的な内乱を引き起こす。これを治承・寿永の乱という。とりわけ、平治の乱で [2] に流されていた源頼朝が1180年に平氏打倒の兵を挙げたことは、平氏側の最も恐れるところであった。

1181年に清盛は病死する。平氏は次第にその勢力を弱め 1183年には西国に都落ちし、^(カ)ついに1185年の壇ノ浦の戦いで源氏に滅ぼされた。治承・寿永の乱はこれにより一応の収束をみた。鎌倉を拠点としていた頼朝は御家人を従え、東国の支配権を固めてゆく。頼朝の権力拡大を恐れた後白河法皇は [3] 年に義経に頼朝追討を命じた。これに対し頼朝は京都に東国の大軍を進めて法皇を威嚇した。その結果、頼朝はいくつかの政治的要求を法皇に認めさせ、なかでも荘園・公領に地頭を設置する勅許を得たことは頼朝による地頭任命に公法性を与え^(キ)

た。その後、頼朝は自身と対立し陸奥に逃亡していた義経をかくまったとして、

年に奥州藤原氏を討滅し武力による全国平定を達成した。

問 1 下線部(ア)について、1019年の刀伊の入寇を地元武士らが撃退したことはその萌芽として挙げられる。当時、大宰府に赴任していた権帥としてこの防戦に活躍した人物は次のうちどれか。A～Eから一つ選んで、解答欄にマークしなさい。

- A 藤原隆家 B 藤原純友 C 藤原清衡
D 藤原秀郷 E 藤原忠平

問 2 下線部(イ)について、保元の乱では平清盛と同じ陣営にいたが、平治の乱では対立した人物はどれか。A～Eから一つ選んで、解答欄にマークしなさい。

- A 源為義 B 源義朝 C 平忠正 D 平重盛 E 藤原通憲

問 3 空欄 に入る官名としてふさわしいものはどれか。A～Eから一つ選んで、解答欄にマークしなさい。

- A 関白 B 征夷大將軍 C 右近衛大將
D 権中納言 E 太政大臣

問 4 下線部(ウ)について、平家政権を支えた重要な経済的基盤は日宋貿易による利潤であった。なかでも、輸入された宋銭は当時の商業発展に大きな影響を及ぼした。それは主になにによって鑄造されていたか。A～Eから一つ選んで、解答欄にマークしなさい。

- A 金 B 銀 C 銅 D すず E 鉛

問 5 下線部(ニ)の政治形態に関する次の説明文のうち、誤っている箇所はどこか。A～Eから一つ選んで、解答欄にマークしなさい。

院政とは上皇みずからが国政を執る政治形態をさす。それが常態となったのは1086年に譲位した白河上皇からである。この譲位の動機は直接的には、皇統が確実に子孫に伝えられるのを見きわめるためだった。^Aただ、譲位後も幼少の堀河天皇を擁護後見する必要に迫られ、次第に政務にかかわる発言権を強めていった。上皇は院宣や院庁下文を発給するなどして国政を掌握した。^Bとはいえ、それは法や慣例に配慮した統治であった。^Cそこでは院近臣とよばれた富裕な受領などが登用された。^{D E}

問 6 下線部(オ)の『平家物語』は軍記物語の最高傑作といわれる。以下の作品のうちこうした軍記物語に属さないものはどれか。A～Eから一つ選んで、解答欄にマークしなさい。

- A 将門記 B 陸奥話記 C 太平記
D 栄花物語 E 保元物語

問 7 空欄 に入る地名としてふさわしいものはどれか。A～Eから一つ選んで、解答欄にマークしなさい。

- A 房 総 B 伊 豆 C 佐 渡 D 淡路島 E 隠 岐

問 8 下線部(カ)について、平氏の都落ちに代わって京都に入った人物はどれか。A～Eから一つ選んで、解答欄にマークしなさい。

- A 源頼家 B 源義家 C 源範頼 D 源義経 E 源義仲

問 9 空欄 と空欄 に入る年として、正しいものはどれか。

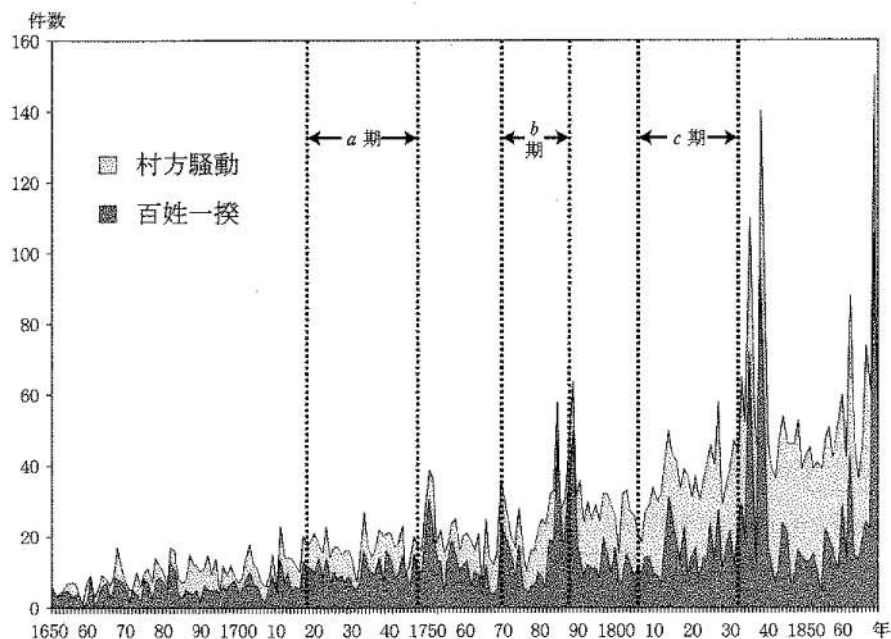
A～Eから一つ選んで、解答欄にマークしなさい。

	<input type="text" value="3"/>	<input type="text" value="4"/>
A	1184	1189
B	1184	1192
C	1185	1189
D	1185	1192
E	1189	1192

問10 下線部(キ)の地頭についての次の記述のうち正しいものはどれか。A～Eから一つ選んで、解答欄にマークしなさい。

- A 最初は平家没官領や謀反人跡地には地頭は設置できなかった。
- B それ以降も国司や荘園領主は地頭の任免権を依然もっていた。
- C 地頭は大犯三か条の遂行などの治安維持を職務とした。
- D 地頭には田畑1反につき3升の兵糧米の徴収権があった。
- E 地頭は平氏政権の下でも一部の荘園や公領に置かれていた。

〔Ⅲ〕 下のグラフは、17世紀半ばから19世紀半ばまでの百姓一揆と村方騒動の推移を表したものである。次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。



〔出所〕青木虹二(1971年)『百姓一揆総合年表』三一書房、28～32頁より作成。

江戸時代には、土地の生産高である石高を基準にして年貢が徴収され、大名や武士の知行(俸禄)も石高で与えられていた。17世紀以降、新田開発や農業技術の向上によって米の生産は拡大し続けていたが、貨幣経済の浸透とともに、幕府財政は次第に厳しいものとなっていった。これは、幕府の財政構造に根本的な矛盾があったからである。貨幣経済の下では、年貢として納められた米で商品を直接購入することはできず、米は貨幣に換えるためにいちど市場で売却されることになる。ところが、この米は商品として評価されるため、米の生産量の増加は米価格の下落につながった。他方で、都市の発達にともなう需要増加に供給が追いつかない米以外の商品の価格は上昇した。このような「米価安の諸色高」とよばれる状況が生じたことから、収入を米に依存する幕府や武士達は、実質的な収入の低下を避けられず、次第に困窮していったのである。

18世紀になると、幕府はこの問題に対して様々な改革を試みていった。グラ

フの【a期】には、第八代将軍徳川吉宗が、家康時代への復古を掲げて幕政改革に努めた。その中心は財政再建にあり、吉宗は儉約令を出して支出の削減を図るとともに、新田開発や年貢の増徴などの増収策をとった。しかし、米を増産すればするほど米価格は下がり、幕府財政は豊かになるどころか実際には窮乏化していった。また、米価の下落と年貢徴収の強化が農民を苦しめたことから、百姓一揆は増加し、農村を離れて都市へと流入する人々も増えた。吉宗はこの物価問題に対処するため、流通と物価統制の仕組みとして商人に組合・株仲間をつくらせ、さらに1730年には、の米市場を公認して、米価統制の核に据えようとした。

グラフの【b期】に入ると、幕府の年貢収納高は減少し始め、米価下落も加わって幕府財政は再び行き詰まった。この時期、側用人から老中となったが幕政の実権を握り、改革を進めていった。は、米穀中心の経済からの脱却をめざし、商業を盛んにして、それが生み出す利益を幕府財源へ取り込もうとした。の政治は、現実的で合理的な性格のものであったが、自然災害や飢饉も重なって一揆や打ちこわしが頻発し、幕府内部でも不満や批判が強まったために行き詰まり、その政策の多くは中止に追い込まれた。

問1 下線部アの結果として、金銭貸借や商取引上の紛争が増加したため、グラフの【a期】になって幕府の一般政務に支障をきたすほどとなった。これを受けて、1719(享保4)年に幕府が出した法令はどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 棄捐令 B 公事方御定書 C 徳政令
D 人掃令 E 相对済し令

問2 空欄の米市場は、全国の米取引の中心となって発展し、世界に先駆けて先物取引まで行っていた。この米市場があった場所はどこか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 天満 B 神田 C 堂島
D 江戸日本橋 E 蔵前

問 3 グラフからは、江戸時代を通じて百姓一揆や村方騒動が次第に増加していったことを読み取ることができる。この百姓一揆や村方騒動に関する説明として、誤っているものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 17世紀末になると、信濃松本藩の嘉助騒動のように村を越えて団結した大規模な惣百姓一揆が各地でみられるようになった。
- B 天明年間には、天候不順や洪水、浅間山の大噴火などが原因となって飢饉が連続して発生し、下総の佐倉惣五郎や上野の礒茂左衛門などの一揆がおこった。
- C 1836年にはとくに厳しい飢饉が発生し、甲斐国都留郡や三河加茂郡などの幕府直轄地でも大規模な一揆があった。
- D 18世紀後半になると、村役人・豪農と小百姓・小作人とのあいだの対立が深まり、村方騒動が各地で多発した。
- E 17世紀後半からは、村々の代表者が百姓全体の利害を代表して領主に直訴する代表越訴型の一揆が増えた。

問 4 空欄 の人物によってとられた施策として、誤っているものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 銅・鉄・真鍮・朝鮮人参などの専売制度の実施
- B 定量計数銀貨としての南鐮二朱銀の铸造
- C 蝦夷地開発計画の推進
- D 株仲間の解散による自由な商取引の奨励
- E 下総印旛沼・手賀沼の干拓工事

問 5 グラフの【c期】には、各地で百姓一揆や打ちこわしが続発するとともに、農村において耕作地が荒廃し、土地を失って没落する農民も多く発生するようになった。その一方で、江戸の経済的な繁栄を基盤として、都市を中心に庶民の活力に支えられた町人文化が広まっていった。この時代における文学作品と作者の組み合わせとして誤っているものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 『おらが春』 — 小林一茶
- B 『東海道四谷怪談』 — 鶴屋南北
- C 『仮名手本忠臣蔵』 — 式亭三馬
- D 『東海道中膝栗毛』 — 十返舎一九
- E 『椿説弓張月』 — 曲亭馬琴

〔IV〕 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

日本の産業革命は、紡績業、製糸業を中心として展開された。紡績業では1882年に大阪紡績会社が設立され、翌1883年から操業を開始した。さらに、1890年までに三重紡績、鐘淵紡績などの大規模な紡績会社が設立され、1890年には紡績糸の国内生産高が輸入高を上回った。

製糸業では器械製糸が普及し、1894年には器械製糸の生産高が座繰製糸のそれを上回った。日清戦争後には郡是製糸、岡谷製糸などの大規模な製糸会社が設立され、1909年には日本の生糸輸出が世界第一位となった。さらに、日露戦争前後には鉄鋼業、機械工業などの重工業分野でも産業革命が進展した。

産業革命の進展によって日本資本主義は発達したが、一方で都市問題、労働問題などの諸問題も発生し、これらに関する書物も出版された。都市問題では、1893年に『最暗黒の東京』が、労働問題では、1899年に『日本之下層社会』が刊行された。

日露戦争後、労働者たちは労働者保護の法制化を求めたものの、資本家の反対にあって実現できなかった。工場法は1882年から法制化のための調査が開始されたが、成立したのは1911年であった。この間、1897年4月には職工義友会が結成され、同年7月には組織を広げて労働組合期成会が結成された。

問 1 下線部(ア)の大阪紡績会社の説明として誤っているものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 渋沢栄一の設定構想により、約1万錠の規模で開業した。
- B 電灯照明を導入したほか、昼夜二交代制を採用した。
- C 工務支配人および技術者に多くのお雇外国人を採用した。
- D 都市部に工場を立地させ、蒸気機関を導入した。
- E 華族、財界有力者、綿関係商などの出資で設立された。

問 2 下線部(イ)の説明として誤っているものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 官営八幡製鉄所が設立され、1901年から操業を開始した。
- B 民間の鉄工所として日本製鋼所が設立され、海軍用の兵器などが生産された。
- C 工作機械では、池貝鉄工所が池貝式標準旋盤の量産化に成功した。
- D 製鉄業奨励法が制定され、日本製鉄会社が設立された。
- E 造船奨励法と航海奨励法が制定され、造船技術の向上がみられた。

問 3 下線部(ウ)は、明治中期の東京の下層社会の生活実態を克明に描いたものである。その作者は、国民新聞社の記者として東京の貧民窟に潜入し、そのルポルタージュを『国民新聞』に掲載したのち、それを書物としてまとめ上げた。その作者とはだれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 松原岩五郎 B 二葉亭四迷 C 田中正造
- D 久米邦武 E 田口卯吉

問 4 下線部(エ)は、桐生・足利など群馬県機業地の労働者の長時間労働の実態を調査した書物である。その作者はだれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 三宅雪嶺 B 島田三郎 C 横山源之助
- D 宮崎民蔵 E 細井和喜蔵

問 5 下線部(オ)を結成した中心人物で、『労働世界』の主筆を務めたほか『我社会主義』、『日本の労働運動』の著書がある人物はだれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 安部磯雄 B 木下尚江 C 高野房太郎
- D 幸徳秋水 E 片山潜

〔V〕 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

明治期に近代的な経済発展を開始した日本では、日清戦争後に繊維産業を中心として資本主義が成立した。一方、農業部門の発展は遅く、零細農家の小作農への転落が増加し、土地集約を果たした地主は、自身は耕作を行わず小作料収入に依存する寄生地主^(ア)となっていた。農業生産は都市人口の増加に追いつかず、主食である米の供給不足が慢性化し、米価は高止まりした。工場労働者の増加と生活費の高騰による貧窮は、彼らの権利要求を強め、1 内閣が社会運動への宥和政策を進めるなかで、1906年には社会主義政党である 2 の結社届けが受理された。

このような資本主義経済の発展を経て、日本経済は近代的な経済環境に特有の周期的な景気循環を経験するようになる。^(ウ)なかでも日露戦争の反動として生じたいわゆる明治40年恐慌は慢性不況に転化し、巨額の外債利払いで悪化していた財政状況をさらに深刻なものにした。

不況と財政危機を改善する契機となったのが第一次世界大戦である。日本は連合国側で参戦するとともに、軍需品輸出、ヨーロッパ諸国の企業が後退した市場への工業製品の供給を行うことによって、大戦景気を謳歌した。大戦景気の末期には賃金が上昇しはじめ、農産物価格も1920年代前半には相対的に高止まりしたため、労働者・農家の所得は増大した。これらの所得増加が新中間層を誕生させ、消費社会・大衆文化の萌芽がみられるようになった。

^(オ)しかし、大戦景気による日本経済の活況は終戦とともに急速に陰りを見せはじめた。反動不況からの回復もままならないなか、1923年関東大震災が発生した。震災によって甚大な被害をうけた企業を救済するために、政府は混乱の收拾につとめた^(カ)が、これらの措置はその後の日本経済の大きな足枷となった。

政府は積極財政と金融緩和による景気対策を続け、企業破綻の回避につとめた^(キ)が、金本位制から離脱して以降の外国為替相場は下落を続けたため金融市場は安定しなかつた。1929年に成立した内閣は経済の安定化を目指して金輸出を解禁し、1930年1月に金本位制への復帰を果たした。^(ク)しかし、この金解禁は大戦前と同じ金価格(旧平価)で行われたため、第一次世界大戦前に比べ大幅に円安とな

っていた為替相場は円高に向けて調整された。円高と1929年以来の世界大恐慌の影響で日本経済は深刻な不況に陥った。

(ケ)
1931年12月に成立した内閣の高橋是清蔵相はただちに金輸出の再禁止を行い、管理通貨制度に移行した。円相場の大幅な下落を利用して、飛躍的に輸出は伸び、1933年には世界に先駆けて世界大恐慌以前の生産水準を回復するに至った。
(コ)

問1 下線部(ケ)に関連して、昭和初期には明治以降の社会・経済の発展とその特徴についてマルクス主義者間で激しい論争が行われた。『日本資本主義発達史講座』などで論説を発表した学派の中心人物として正しいものはどれか。

A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 河上肇 B 野呂栄太郎 C 猪俣津南雄
D 福田徳三 E 櫛田民蔵

問2 下線部(イ)について、空欄 と空欄 に入る人名・政党名の組み合わせとして正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

-
- A 桂太郎 一 社会民主党
B 桂太郎 一 日本社会党
C 加藤友三郎 一 社会民主党
D 西園寺公望 一 日本共産党
E 西園寺公望 一 日本社会党

問 3 下線部(ウ)について、19 世紀末から 20 世紀初頭の金本位制下における経済の説明として誤っているものはどれか。A～E から一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 設備投資の増加は、資金需要の増大を招くことで金利を高騰させた。
- B 生産増は労働市場での需給逼迫を招くことで賃金を上昇させた。
- C 好況時には海外からの投資が拡大し、為替は円高となった。
- D 消費・投資の縮小は輸入減を通じて経常収支を改善させた。
- E 恐慌・不況の過程で生産性に劣る企業が淘汰された。

問 4 下線部(ニ)に関連した以下の説明のなかで正しいものはどれか。A～E から一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 大隈内閣は日英同盟を理由に三国同盟側のロシアに宣戦布告し、北樺太・千島列島を占領した。
- B 孫文を総統とする中華民国政府に対して二十一か条の要求をつきつけ、そのほとんどの要求を承諾させた。
- C チェコスロヴァキア軍の救援を名目として米国とともに 1918 年にシベリアへの派兵を行った。
- D パリ講和会議において、米国とともに人種差別撤廃案を提出したが、中国への権益拡大を狙う各国の反対で実現はしなかった。
- E ヴェルサイユ条約によって赤道以北南洋諸島の委任統治権を得たが、その一方で山東省の権益については返還することになった。

問 5 下線部(オ)について、1920年代の社会・生活に関する記述のうち、正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 増加する京浜・京阪神地区の新中間層むけの住宅として、私鉄沿線で団地の建設が行われるようになった。
- B 小林一三が設立した箕面有馬電気軌道は阪神電鉄と改称し、大阪梅田にターミナルデパートを建設した。
- C 大企業と中小企業、自作農と小作農の所得格差は縮小傾向をみせ、一億総中流化と呼ばれるようになった。
- D 大都市では、サラリーマンと呼ばれる会社員・公務員の数が増加するとともに、職業婦人が増加した。
- E 『大阪毎日新聞』、『東京朝日新聞』、『日本経済新聞』など、発行部数100万部を超える日刊紙が現れた。

問 6 下線部(カ)に関する以下の説明のうち、正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 日本銀行は緊急の資金需要に対応するために、裏を印刷していない裏白紙幣を発行して事態の沈静化をはかった。
- B 震災によって崩壊した京浜地域のインフラを整備するために大規模な時局匡救費を成立させ、救農土木事業を行った。
- C 政府は支払猶予令・震災手形割引損失補償令を出して、日銀特別融資を行うことで混乱の收拾をはかった。
- D 若槻内閣は特別融資緊急勅令による特別融資を行おうとしたが、枢密顧問官伊東巳代治らの反対により実行できなかった。
- E 失業対策と治安維持のために、1907年の帝国国防方針以来の懸案であった陸軍二個師団増設を実施した。

問 7 下線部(キ)に関連して、貨幣制度に関する以下の記述のうち、正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 1871年の新貨条例において金本位制の採用が定められたが、事実上は金銀複本位制を経て、銀本位制に移行する結果となった。
- B 大隈内閣は貨幣法を制定し、日清戦争の賠償金を準備金として、金0.75gを1円とする金本位制を確立した。
- C 金本位制の下では、経常収支が赤字の場合には国際収支改善のために財政出動や金融緩和といったインフレ政策が必要とされた。
- D 1920年代以降の各国では、変動相場制が国際金融制度の常態ととらえられるようになり、金本位制への復帰を実施した列強は日本のみであった。
- E 1930年1月の金本位制復帰を予想して、財閥は円高を見越しての円買いドル売りの投機を行って大きな利益を得た。

問 8 下線部(ク)の内閣の首相は1930年11月に東京駅で銃撃され執務不能となった。その際に内閣総理大臣臨時代理をつとめた同内閣の外務大臣と、後任の総理大臣の名前の組み合わせとして正しいものはどれか。A～Eから一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 井上準之助 — 若槻礼次郎
- B 井上準之助 — 田中義一
- C 幣原喜重郎 — 若槻礼次郎
- D 幣原喜重郎 — 田中義一
- E 小泉又次郎 — 田中義一

問 9 下線部(ケ)について、金解禁から 1931 年 11 月に至るまでの日本経済に関する以下の説明の記述のうち、正しいものはどれか。A～E から一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 産業競争力強化法を制定し、指定産業の主要企業を国有化することを通じて不況からの脱却をはかった。
- B 不況による労働争議・小作争議の急増に対応するため、治安維持法を制定し、争議の拡大を防ごうとした。
- C 外国為替管理法を制定し、外国為替銀行制度を導入することで、金本位制の継続を確立しようと試みた。
- D 不況は深刻化したが、金本位制への復帰によって金融業の信認は高まったため、銀行業の利益は大戦直後の水準を大きく上回った。
- E 生糸の輸出減による繭価の低下、不況や植民地米の移入などによる米価の低迷によって農村の貧窮は深刻なものとなった。

問10 下線部(コ)に関連して、戦後の日本経済が 1934 年—1936 年平均の経済水準を回復したのが 1951 年とされる。1950 年代の日本経済に関する以下の記述のうち、正しいものはどれか。A～E から一つ選び、解答欄にマークしなさい。

- A 日本政策投資銀行が設立され、成長産業への融資が行われた。
- B 造船量はイギリスを抜いて世界第 1 位となった。
- C 経済安定本部が設立され、傾斜生産方式が採用された。
- D 農業基本法が制定され、化学肥料と農業機械の使用がさらに拡大した。
- E インフレに対し政府は金融緊急措置令をもって対応した。